

もしも、 個人情報情報が漏えいしたら

気づき!
考える!

2009. 10. 9

弁護士法人 エルティ総合法律事務所
所長弁護士／システム監査技術者／
千代田区個人情報審議会副委員長

藤谷護人

1. みなさんは、こんなハガキ貰ったことありませんか？

電子消費者未納利用料請求最終通告書

この度、貴方様をご利用になりました有料情報サイトの（情報通信料未納分）について、ご連絡になりますので直ちにご連絡下さい。

貴方様の未納料金につきまして、未だお支払いの確認がとれておりません。ご連絡なき場合は（情報通信契約民法特例法）に基づき、誠に遺憾ですが、**裁判発展となり執行官に依り給料差し押え**及び**動産物差し押え**になりますので御了承下さい。尚、法的手続きを拒む場合、法務省より営業許可された債権回収業者様へ委託をいたし、ご自宅への料金の回収にお伺いさせていただきます。又、お支払い方法などは下記に記載してあります番号にお客様コード、氏名を伝えお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

料 金 担 当 (0 8 0 1) 2 4 0 - 2 5 6 4

お 問 合 せ 担 当 (0 8 0 1) 2 4 0 - 2 5 6 5

お 客 様 相 談 担 当 (0 8 0 1) 2 4 0 - 2 5 6 7

お客様コード：B-27631

(株) ジャパンクリエイト

受付時間 / 8:30~20:00 定休日 / 日曜日

※早期解決をはかる為に大至急ご連絡下さい。

**「架空請求
ハガキ」に
ご注意！**

2. みなさんは、「振り込め詐欺」にあったことは ありませんか？

(被害例)

- 徳島の田舎で一人暮らしのAさんのところに、東京で働いている孫の「タカシ」(実は、ニセ者)から、突然の電話があり、「おばあちゃん、実は俺、車で事故ってしまって、しかも相手がヤクザみたいな人で、すぐに300万円持ってこない大変なことになるぞ、て脅されてる、どうしよう」と相談され、Aさんは可愛い孫に何かあったら大変だと慌てて、近くの銀行から300万円を振り込んだ。実は、詐欺だった。

クイズ!「平成19年1月~9月の間に、**235億円**
何の数字でしょうか？」

3. 「架空請求詐欺」や「振り込め詐欺」が、なぜ、起きるのか？ 無くならないのか？

原因は、「個人情報の漏えい」です。



「漏えい事件」が後を絶たないのです。



「漏えいされた個人情報」がどんどん流されて、暴力団などの手に渡ります。



「住所・氏名」が架空請求ハガキの宛名に、
「電話番号・家族関係」が振り込め詐欺の電話に、
悪用されてしまう。

4. 身近な漏えい事故の例 ～都立墨東病院事故～

1 事故の概要

平成21年1月25日(日曜日)、外部から都立墨東病院のデータが流出しているとの情報提供を受け、調査を進めたところ、個人情報を含む業務資料等の流出を確認した。

(1)発生時期 平成20年12月30日(火曜日)

(2)発生場所 墨東病院事務職員自宅

(3)発生原因 平成20年7月、看護職員所有のUSBメモリ中の破損データの修復のため、事務職員が自宅のパソコンにて作業した。その後、同パソコン内にインストールされていたウィニーがアンチニーウィルスに感染したことにより、ハードディスク内のデータが流出した。

2 流出した情報

(1)看護職員所有のUSBメモリに保管されていた業務資料

(2)流出元となったパソコンを所有する事務職員が取得・作成した資料等

3 流出した個人情報

(1)患者情報 271名分(氏名、年齢、性別、疾患名、患者ID等)

流出したファイル:「インシデント・アクシデントの月別集計資料」等

(2)職員情報 64名分(氏名、住所、電話番号)

(3)委託職員 291名分(会社名、氏名)

(4)その他 14名分(氏名、メールアドレス)

5. 「高度情報化社会」は「高度情報漏えい化社会」

100万件を超える個人情報漏洩事件

流出件数

8,640,000

5,380,000

4,000,000

3,996,789

1,760,000

1,280,000

2,200,000

1,400,000

6,60,0000

1,160,000

発成年月

平成19年3月

平成18年12月

平成18年9月

平成18年6月

平成17年4月

平成17年4月

平成16年4月

平成16年3月

平成16年6月

平成16年2月

企業・組織名

大日本印刷

日産自動車

富士ゼロックスシステムサービス

KDDI

札幌国税局

みちのく銀行

コスモ石油

アッカネットワークス

ソフトバンクBB

三洋信販

クイズ!「平成19年一年間に、**3,053万人**、**864件**、**2兆2711億円** 何の数字でしょうか？」

6. 個人情報漏えい事故の損害賠償は、

検討事例:平成6年12月7日、江戸川区で住民健康診断データ(含む病歴)9万人分が流出しました。あなたが、この事件の被害者だったとして、江戸川区に対して、損害賠償を求めて、国家賠償請求訴訟を提起したとします。裁判所は、いくら損害賠償を認めてくれるでしょうか。

↓

100万円/人

↓

9万人全員だと? 900億円!

↓

当年度の江戸川区の年間予算は、1400億円!

↓

破綻

7. 漏えいは、どうやって、防止するのか

まず、「**きちんと管理**」すること

- ・カギの掛かるところに保管する
- ・コンピュータにセキュリティ装置をつける など

つぎに、「**漏えい防止のこころを強く**」すること

- ・千代田区個人情報保護条例、見守り隊ルールをまもる
- ・「**個人情報を大切に**するこころ」を育てる など

8. 「個人情報大切に**ココロ**」を育てる

平成16年7月、横浜市中区の産婦人科医が墮胎した**胎児の遺体**を「**一般ゴミ**」として捨てた、という新聞記事を読んだ。私は胎児の遺体の生々しさを瞬時に脳裏に描き、その悲惨さと医師に対し**強い怒り**を感じた

平成16年9月、草加市役所からコンピュータ処理を受託した企業
の元SEが、**市民の個人情報**が印刷された**テスト用帳票**を
「**一般ゴミ**」として捨てていた、という記事を読んだ。

しかし、私は草加市の事例には、胎児遺体の事件について感じた
と同じ、**強い怒り**を感じなかった。
なぜか。帳票に印刷されていた市民の個人情報は、市民の
「**ココロ**」である。
遺体と比べて**ココロ**が決して軽い訳ではない。

実は、私たち人間という情報処理システムは、五感のうち「目」に8割以上依存している。視覚的な情報の処理には敏感だが、不可視な情報の処理は得意ではない。

コンピュータの中に、デジタルデータとして記録されている個人情報、完全に「不可視」である。デジタルデータとしての個人情報に、向き合う私たちは、たとえてみればヘレンケラーのようなものである。私たちは個人情報のこころの大切さを理解するためには、その三重苦を乗り越えるための努力をしなければならない。

私たちの一人一人が、この困難さを認識し、「個人情報を大切に
するこころ」を育むことが、究極の個人情報保護対策である。